

2019年11月5日

直通運転開始により都心へのアクセスが向上 二俣川～新宿最速44分 11月30日（土）相鉄線のダイヤ改正を実施 平日朝のラッシュ時間帯に通勤特急・通勤急行を導入

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道(株)（本社・横浜市西区、社長・千原広司）では、2019年11月30日（土）に土休日ダイヤを、12月2日（月）に平日ダイヤを改正します。

これは、西谷駅から羽沢横浜国大駅（新駅）間が開通し、JR東日本との相互直通運転を開始することから実施するものです。

主な改正点は、相互直通運転により相鉄線沿線から武蔵小杉、大崎、恵比寿、渋谷、新宿、池袋、大宮、川越の各駅やりんかい線などへの利便性が向上します。また、特急の停車駅に西谷駅を追加するとともに、海老名駅から横浜駅間の特急増発（主に日中時間帯）、夕方以降の海老名駅～新宿駅間の特急（JR区間は各停）と接続する列車の設定により、1日を通して海老名・大和方面から横浜・新宿方面の速達性と利便性の向上を図ります。

その他、新たに平日の上り朝ラッシュ時間帯に、通勤特急と通勤急行を導入。主にいずみ野線各駅と鶴ヶ峰駅、西谷駅に停車し、横浜方面やJR直通方面への利便性の向上を図ります。

概要は別紙のとおりです。



相鉄・JR直通専用車両「12000系」

新ダイヤの概要

1. 改正日

土休日ダイヤ 2019年11月30日(土)

平日ダイヤ 2019年12月2日(月)

2. 主な改正ポイント

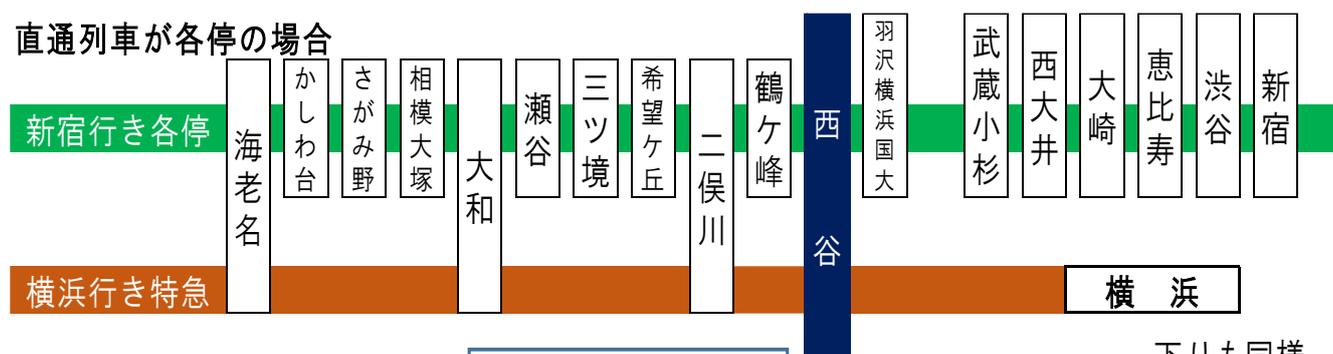
① 新駅「羽沢横浜国大」の開業によりJR東日本との相互直通運転を開始

平日・土休日ともに92本(46往復)を運行し、二俣川～新宿間を最速44分で結びます。相鉄線内は特急と各停で運行し、西谷や二俣川で横浜行きと接続するダイヤとして、横浜方面への利便性と速達性を高めます。

また、朝の時間帯の一部列車は新宿から先の池袋・赤羽・武蔵浦和・大宮方面(最遠は川越)へも運行し、相鉄線沿線から多方面へのアクセスが向上します。

JR直通列車と横浜行きの接続例

直通列車が各停の場合



直通列車が特急の場合



横浜行きと直通列車の接続

下りも同様

② 特急・快速の停車駅に西谷を追加

- ・西谷～横浜間 特急利用で1駅最短7分。
- ・西谷と鶴ヶ峰は停車する列車数が大幅に増加し、横浜への利便性が向上します。

西谷駅停車88本増 鶴ヶ峰駅停車26本増 (平日ダイヤの横浜行き)

※停車駅は路線図参照

③ 相互直通運転開始に伴い各時間帯の運行パターンを変更

[早朝時間帯]

- ・直通列車の運行時間外に羽沢横浜国大～西谷間の区間運転を実施します(下りのみ)。
- ・上り始発列車の時刻を2分程度早くします(かしわ台発横浜行き・いずみ野発二俣川行き)。

[朝時間帯（平日）]

- 平日朝の海老名発「特急」を増発します。

海老名発 5 時台から運行を開始し、時間帯を拡大するとともに、半数を J R 直通列車として運行します。

なお、J R 直通の特急は西谷または二俣川で横浜行きに接続します。

平日朝の上り特急列車

行先⇒	新宿	横浜	新宿	横浜	川越	横浜	大宮	横浜	大宮
海老名発	5:43	6:04	6:12	6:23	6:31	6:40	6:48	6:58	7:07
大和発	5:50	6:12	6:20	6:30	6:39	6:48	6:56	7:05	7:15
二俣川発	5:57	6:19	6:27	6:38	6:46	6:56	7:04	7:13	7:23
西谷発	6:01	6:23	6:32	6:43	6:50	7:01	7:08	7:18	7:31
渋谷着	6:38	∴	7:09	∴	7:27	∴	7:47	∴	8:07
新宿着	6:44	∴	7:15	∴	7:33	∴	7:53	∴	8:12
横浜着	【6:10】	6:30	【6:41】	6:51	【6:58】	7:10	【7:16】	7:27	(7:38)

行先⇒	横浜	大宮	川越	赤羽	横浜	新宿	横浜	横浜	横浜
海老名発	7:14	7:24	7:40	7:55	8:03	8:12	8:28	8:40	8:58
大和発	7:22	7:32	7:47	8:02	8:10	8:19	8:35	8:47	9:05
二俣川発	7:30	7:40	7:55	8:10	8:19	8:27	8:42	8:54	9:13
西谷発	7:36	7:45	8:00	8:16	8:25	8:31	8:46	8:59	9:17
渋谷着	∴	8:24	8:39	8:52	∴	9:09	【9:22】	【9:37】	【9:55】
新宿着	∴	8:30	8:45	8:58	∴	9:15	【9:30】	【9:44】	【10:01】
横浜着	7:46	(7:58)	(8:12)	(8:26)	8:34	(8:43)	8:54	9:06	9:25

※【青字】西谷で快速に乗り換え 【赤字】西谷で通勤急行に乗り換え（赤字）二俣川で通勤急行に乗り換え（オレンジ）二俣川で通勤特急に乗り換え 【緑字】西谷で新宿行きに乗り換え

- 「通勤特急」「通勤急行」を運行します

主にいずみ野線各駅から横浜へ直通し、利便性と速達性を向上します。

通勤特急は J R 直通列車と二俣川で接続し、都心方面への利便性を向上します。

※停車駅は路線図参照

- 朝ラッシュ時の本線に「各停」を運行します（一部の急行から変更）

これまで海老名～希望ヶ丘間から天王町などへは、乗り換えが必ず必要でしたが、直通でご利用いただける列車が増加します。

※運行時間はウェブサイト内の時刻表参照

https://www.sotetsu.co.jp/future/into_tokyo/diagram/

- 朝ラッシュ時の本線下りに「特急」を運行します

二俣川～海老名間で 4 分程度短縮します。

瀬谷駅 1 番線の使用を開始し、一部の急行・快速で特急の通過待ちを行います。

※運行時間はウェブサイト内の時刻表参照

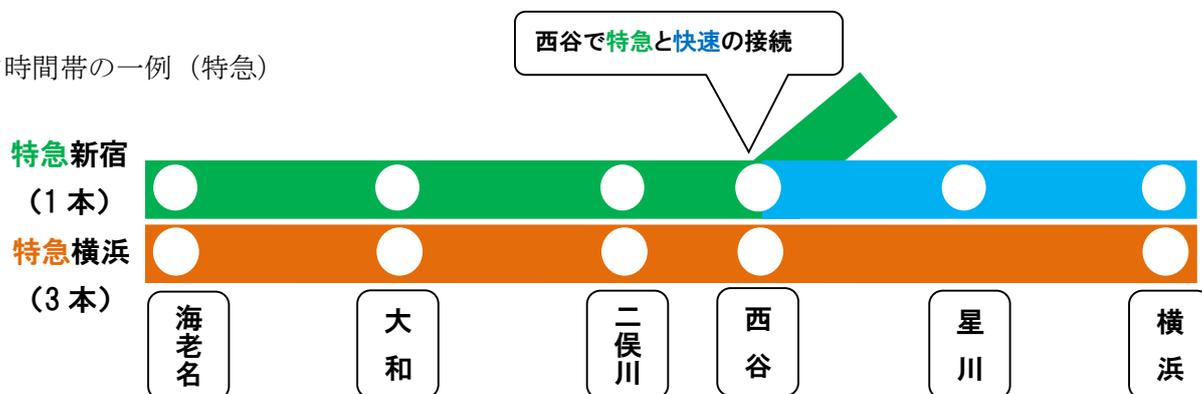
https://www.sotetsu.co.jp/future/into_tokyo/diagram/

[日中時間帯（平日/土休日）]

- ・本線の「特急」を増発します

湘南台～横浜間の特急を海老名～横浜間に変更し、海老名～横浜間の特急を1時間当たり3本にします。また、JR直通列車は1時間2本のうち1本を特急として運転し、西谷で横浜行きと接続するダイヤとします。これにより海老名発基準では1時間当たり4本の特急を運行することで、海老名・大和～横浜間の利便性を高めます。

日中時間帯の一例（特急）



※特急設定により急行4本のうち2本を快速と新宿行きの各停にそれぞれ変更します。

- ・いずみ野線は「快速」と「各停」を運行します。

現在運行しているいずみ野線特急の運行を休止します。いずみ野線は1時間当たり快速2本、各停4本を運転し、ほぼ10分間隔のダイヤとします。快速で横浜への直通を図りつつ、各停は二俣川で海老名発の「JR直通列車」「急行」「快速」へお乗り換えが可能で、両方面の利便性を向上します。

[夜間時間帯（平日/土休日 横浜発20時以降）]

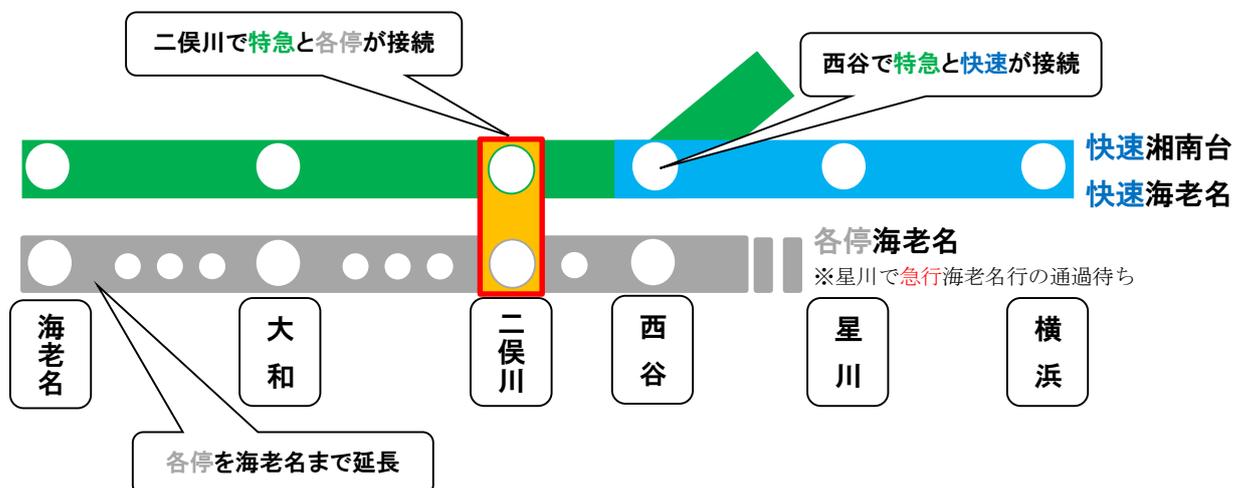
- ・新宿発の特急海老名行きを約20分間隔で運行します。

これにより横浜発急行の本数が減少しますが、新宿発特急と横浜発快速が西谷で接続することで、横浜～海老名間の速達性を向上します。

- ・各停大和行きを海老名まで延長します（平日）。

※新宿発の特急はJR区間は各停。

- ・直通列車運行時間外に西谷～羽沢横浜国大間の区間運転を実施します（上りのみ）。



3. ダイヤ改正に関するご案内について

改正点や各駅の時刻表については、相鉄グループウェブサイトをご覧ください。

相鉄グループウェブサイト：https://www.sotetsu.co.jp/future/into_tokyo/diagram/

4. お問い合わせ

相鉄お客様センター 045-319-2111

平日9:00~19:00・土休日9:00~17:00（年末年始は除く）

【新ダイヤの路線図】

